

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	
	事業名	広域常備消防費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	727,411,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	0円	727,411,000円
主管	市民一人当たり の決算額	(一般財源等ベース 10,510円)		10,510円	単位決算額	237,173円 (出動件数 3,067件)	
防 災 行 政 課	1 事業目的 消防事務を尾張中部広域圏で行うため、清須市、北名古屋市及び豊山町で構成する西春日井広域事務組合へ、当該組合規約で定める応分の負担金を支出する。						
	2 事業内容 西春日井広域事務組合規約第8条の規定により、西春日井広域事務組合へ負担金を支出した。						
	(1) 西春日井広域事務組合消防負担金						
	ア 負担割合						
	清須市		北名古屋市		豊山町		
	40.95%		43.71%		15.34%		
	イ 出動件数						
	区 分			件 数			
	火災出動			37件			
	うち清須市			15件			
救急出動			7,281件				
うち清須市			3,052件				
ウ 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
負担金、補助及び交付金		西春日井広域事務組合消防負担金		727,391,000円			
(2) 西春日井広域事務組合権限移譲分担金							
ア 負担割合 西春日井広域事務組合規約第3条第4号に掲げる事務の処理に要する経費として、愛知県から組合市町に交付される権限移譲交付金の額							
イ 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
負担金、補助及び交付金		西春日井広域事務組合権限移譲分担金		20,000円			
3 事業成果 当該負担金の支出により、消防組織法で定める市町村の消防責任及び消防機関の設置義務を果たし、市民の生命、身体及び財産を火災から保護することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費	
	事業名	愛知県操法大会出場費（消防団費）					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	4,827,398 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担 金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	4,827,398 円
主管	市民一人当たり の決算額	70 円 (一般財源等ベース 70 円)		単位決算額	17,683 円 (消防団員 273 人)		
防 災 行 政 課	1 事業目的						
	消防団員の消防技術の向上と士気高揚を図り、基本的な操作の習得を目指すことを目的としており、本大会に出場することで、本市消防団における規律ある動作及び的確な命令・行為の伝達、騒音・火災で混乱しがちな現場においての正確な操作と、命令系統を遵守した行動の習得を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 期日 7月20日（土）						
	(2) 場所 竹島ふ頭（蒲郡市港町）						
	(3) 支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			旅費	大会出場に向けた訓練の費用弁償		2,773,000 円	
			需用費	ホース、活動服、運動靴、電気代及び食糧費など		1,678,534 円	
			委託料	会場設営業務		84,024 円	
		使用料及び賃借料	大会会場への高速代・送迎用大型バス代		291,840 円		
3 事業成果							
大会への出場を通じて消防ポンプ車操法の基本操作の習得及び命令・伝達による迅速な消火活動が可能となり、もって消防組織法で定める市町村の消防責任を果たし、市民の生命、身体及び財産を火災から保護することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費
	事業名	消防施設費				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	18,465,114円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	0円	0円	0円	0円	0円	18,465,114円
主管	市民一人当たり の決算額	267円 (一般財源等ベース 267円)		単位決算額	1,538,760円 (分団 12分団)	
防 災 行 政 課	1 事業目的 消防活動を行う上で必要とされる消防団詰所、消防水利などの関係施設を良好に管理し、火災時などにおける対応の万全を期する。					
	2 事業内容					
	(1) 消防団詰所管理費 消防団の活動拠点となる消防団詰所を良好に管理した。					
	ア 主な支出科目					
		区 分	内 容		事業費	
		需用費	消耗品、電気・ガス・水道料金及び修繕料		1,169,030円	
		役務費	通信運搬費、浄化槽清掃手数料及び保険料		293,142円	
		使用料及び賃借料	清洲分団詰所土地借上料など		1,801,335円	
	(2) 消防団詰所整備費 西枇杷島第3分団詰所にて公共下水道に接続する工事を行った。					
	ア 支出科目					
	区 分	内 容		事業費		
	委託料	設計業務、監理業務		1,430,000円		
	工事請負費	公共下水道接続工事		5,797,000円		
(3) 防火水槽等管理費						
ア 防火水槽 消防水利の増強を図り、市民生活の安全を確保するための防火水槽（91か所）を良好に管理した。						
イ 消火栓 消火栓を管理する清須市水道事業（124か所）及び名古屋市上下水道局（1,021か所）に対し、維持管理費などの負担金を支出した。						
ウ 主な支出科目						
	区 分	内 容		事業費		
	使用料及び賃借料	防火水槽土地借上料		1,146,454円		
	負担金、補助及び交付金	清須市水道事業負担金		1,120,109円		
		名古屋市上下水道局負担金		5,281,000円		
3 事業成果 良好な火災対応状況が維持されることにより、火災発生時の諸活動を円滑に行うことができた。						

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費	
	事業名	消防車両費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	1,871,380 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,871,380 円
主管	市民一人当たりの 決算額	(一般財源等ベース 27 円)		27 円	単位決算額	155,948 円 (分団 12 分団)	
防 災 行 政 課	1 事業目的						
	さまざまな災害現場での十分な対応を行うため、消防団詰所に配置している消防車両を適正に管理、整備する。また、消防車両本体及び装備品の老朽化による機能低下を最小限にするため、定期的な更新を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 消防車両管理費						
	市消防団に消防車両 12 台を配置し、適正に管理した。						
	ア 消防車両の配置状況						
	区 分		内 容			台 数	
	西枇杷島分団		CD-I 型			3 台	
	清洲分団		CD-I 型			3 台	
	新川分団		CD-I 型			3 台	
救助資機材搭載型小型ポンプ積載車			1 台				
春日分団		CD-I 型			2 台		
		合 計			12 台		
イ 支出科目							
区 分		内 容			事業費		
需用費		軽油代			202,530 円		
		日常修繕、車検代及び法定点検代			1,052,520 円		
役務費		損害賠償任意保険料など			313,330 円		
公課金		自動車重量税			303,000 円		
3 事業成果							
消防活動に必要な不可欠な消防車両を常時良好に維持することにより、火災発生時などの迅速な出動と円滑な活動を行うことができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費
	事業名	防災訓練等費（防災対策費）				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	1,321,019 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,321,019 円
主管	市民一人当たり の決算額	19 円 (一般財源等ベース 19 円)		単位決算額		
防 災 行 政 課	1 事業目的 災害時の被害拡大を防止するため、関係機関等が一堂に会して実施する総合防災訓練を通じ、自助、共助及び公助の考えに基づいたそれぞれが担うべき活動の研さん及び関係機関等の横断的連携の構築を図る。					
	2 事業内容 災害時の初動活動を円滑に行うため、総合防災訓練を実施した。					
	(1) 実施内容					
		期 日	内 容		場 所	
		9月7日(土)	自助、共助、公助の考えに基づいて各々の効率的な活動を可能にするための訓練		庄内川水防センター付近	
	(2) 支出科目					
		区 分	内 容		事業費	
		需用費	防災訓練用消耗品など		112,668 円	
		役務費	防火防災訓練災害補償等共済制度掛金など		88,090 円	
		委託料	防災訓練会場設営・撤去業務及び草刈業務		1,001,800 円	
	原材料費	水防訓練用山砂		118,461 円		
3 事業成果 実践的な防災訓練を実施し、それに伴う各防災機関の横断的対応の強化がなされたことにより、市の災害対応能力及び住民の防災意識を向上させることができた。						

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	地域防災リーダー養成費（防災対策費）							
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳							
	434,336円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
0円		0円	0円	0円	0円	434,336円			
主管	市民一人当たり の決算額	6円 (一般財源等ベース 6円)		単位決算額	5,233円 (受講者数 83名)				
防 災 行 政 課	1 事業目的 災害の被害を最小限に食い止めるため、防災の初心者地域防災リーダーとしての意識を持たせ、発災時に避難所の運営などが行えるような人材を養成する。								
	2 事業内容 地域防災リーダーに対し講義、グループワーク、講演会を実施した。								
	(1) 新規講座（受講者48名）								
	区 分			内 容			場 所		
	第1回 5月12日（日）			講義及びグループワーク			清洲市民センター		
	第2回 5月18日（土）			防災講演会					
	第3回 7月7日（日）			講義及びグループワーク					
	(2) フォローアップ講座（受講者35名）								
	区 分			内 容			場 所		
	第1回 5月18日（土）			防災講演会			清洲市民センター		
第2回 11月24日（日）			講義及びグループワーク						
(3) 支出科目									
区 分		内 容				事業費			
需用費		グループワーク用消耗品				15,336円			
役務費		講師派遣料及び郵送費				419,000円			
3 事業成果 防災・減災対策活動を幅広く行うことのできる地域防災リーダーを養成し、地域防災力の向上を図ることができた。									

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	自主防災活動支援補助金（防災対策費）							
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳							
	3,181,182円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0円	0円	0円	0円	0円	3,181,182円		
主管	市民一人当たりの 決算額	(一般財源等ベース		46円 46円)	単位決算額	61,177円 (補助件数 52件)			
防 災 行 政 課	1 事業目的								
	地域住民が自主的に設立した防災組織の育成を図るため、自主防災組織の防災資機材購入などに対し、補助金を交付する。								
	2 事業内容								
	(1) 自主防災組織補助金								
	ブロック自主防災組織による、防災啓発パンフレット作成などのソフト事業や防災資機材購入などのハード事業に対し、補助金を交付した。								
	また、防火意識の高揚を図るため、消火器及び消火器格納箱等の購入に対し、補助金を交付した。								
	(2) 消火器の消火薬剤詰め替え費補助金								
	防火意識の高揚を図るため、消火器の消火薬剤の詰め替えに要する費用に対し、補助金を交付した。								
	(3) 主な支出科目								
			区 分	内 容	交付件数	事業費			
負担金、補助及び交付金			自主防災組織補助金	22件	2,347,000円				
			消火器の消火薬剤詰め替え費補助金	30件	830,100円				
3 事業成果									
防災資機材の購入やソフト事業の推奨、消火器の購入及び薬剤詰め替え等の補助をすることにより、自主防災組織の活動を側面支援し、更なる地域防災力の向上を図ることができた。									

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費
	事業名	防災支援システム費（防災対策費）				
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳				
	1,070,364 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	281,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	789,364 円
主管	市民一人当たりの 決算額	15 円 (一般財源等ベース 11 円)		単位決算額		
防 災 行 政 課	1 事業目的					
	災害対策本部における情報の収集、共有・伝達という情報処理機能を強化し、住民を避難させる時期の判断を適切に行うことができる体制を整備するため、愛知県が整備した防災支援システムを利用する。					
	2 事業内容					
	既存の愛知県防災情報システムと接続・連携する形でクラウド基盤上に新規整備されたシステムを利用するため、初期設定を行った。					
	(1) 防災支援システムの利用目的					
	ア 災害対応業務の省力化					
	イ 避難判断プロセスの効率化					
	ウ 愛知県への報告業務の負担軽減					
	エ 防災情報の一元化による情報の漏れ・抜けの防止					
	(2) 支出科目					
	区 分	内 容			事業費	
	委託料	防災支援システム初期設定業務			843,480 円	
	使用料及び賃借料	防災支援システム利用料			226,884 円	
3 事業成果						
愛知県が整備した防災支援システムを利用し、災害対策本部の情報処理機能を強化することができた。						



科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費	
	事業名	防災行政無線費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	26,014,911 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	26,014,911 円
主管	市民一人当たり の決算額	376 円 (一般財源等ベース 376 円)		単位決算額	97,800 円 (無線機 266 台)		
防 災 行 政 課	1 事業目的 防災行政の生命線とされる防災行政無線設備を常時良好な状態に維持、管理し、災害時の諸活動における連絡体制を確立させ、市民生活の安全と安心を確保する。						
	2 事業内容						
	(1) 防災行政無線管理費 防災行政無線が常に不具合なく使用できるよう管理した。						
	ア 防災行政無線の設置状況						
			同報系		移動系		
			親局、屋外拡声子局 (110 基)		親局、半固定型 (58 基)、車載携帯型 (28 基) 及び携帯型 (70 基)		
	イ 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		光熱水費 (電気) 及び修繕料など		2,295,237 円		
	役務費		電話回線使用料		434,384 円		
委託料		防災行政無線設備保守点検業務 (同報系、移動系) など		19,323,480 円			
使用料及び賃借料		土地借上料及び電波利用料		89,100 円			
負担金、補助及び交付金		県防災行政無線運営協議会分担金		1,353,710 円			
(2) 防災行政無線整備費 清洲配水場の解体に伴い、敷地内に設置されている防災行政無線屋外子局を移設する必要が生じたため、移設工事を行った。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
工事請負費		同報系屋外子局移設工事		2,519,000 円			
3 事業成果 電波法に定める管理状態を良好に維持することにより、無線使用環境を確保することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費	
	事業名	新川ふれあい防災センター費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	10,779,317円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	1,172,820円	0円	0円	204,480円	9,402,017円
主管	市民一人当たりの 決算額	156円 (一般財源等ベース 136円)		単位決算額	6,455円 (利用者数 1,670件)		
防 災 行 政 課	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適正な管理、運営を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 新川ふれあい防災センター管理費 新川ふれあい防災センターを良好に管理した。						
	ア 利用件数						
			区 分	延べ利用件数			
			集会室Ⅰ	318件			
			集会室Ⅱ	483件			
			和室	197件			
			会議室	428件			
			多目的広場	244件			
		合 計	1,670件				
イ 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
需用費		消耗品費		266,179円			
		印刷製本費		13,824円			
		光熱水費		1,806,942円			
		修繕料		95,592円			
役務費		通信運搬費及び火災保険料など		253,457円			
委託料		清掃業務		1,521,831円			
		警備業務		139,956円			
		エレベーター点検及び消防用設備等の保守点検業務		1,402,786円			
		施設管理業務		4,961,649円			
使用料及び賃借料		NHK放送受信料及び清掃器具等使用料		317,101円			
3 事業成果 施設を適切に維持管理することにより、利用者に快適な環境を提供することができた。							

科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費	
	事業名	庄内川水防センター費					
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳					
	3,944,968 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0 円	1,177,590 円	0 円	0 円	561,018 円	2,206,360 円
主管	市民一人当たりの 決算額	57 円 (一般財源等ベース 32 円)		単位決算額	8,539 円 (延べ利用件数 462 件)		
都 市 計 画 課	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適切な管理、運営を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 庄内川水防センター管理費 庄内川水防センターを良好に管理、運営した。						
	ア 利用件数						
			区 分	利用件数			
			多目的会議室	462 件			
	イ 支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
	需用費		消耗品費		69,717 円		
			光熱水費		1,707,612 円		
修繕料			163,160 円				
役務費		通信運搬費		77,411 円			
		し尿汲取手数料など		67,600 円			
		火災保険料		13,050 円			
委託料		施設管理業務		937,786 円			
		自家用発電機、消防用設備及び浄化槽の保守業務など		898,632 円			
		浄化槽法定検査及び机など処分料		10,000 円			
3 事業成果 施設を適切に維持管理することにより、災害時における防災活動拠点及び平常時における交流拠点としての機能を確保することができた。							

科目	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費	
	事業名	繰越明許費繰越事業							
	令和元年度 決算額	財 源 内 訳							
	11,000,000 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		5,500,000 円	0 円	0 円	0 円	5,500,000 円	0 円		
主管	市民一人当たりの 決算額	159 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額	314 円 (作成部数 35,000 部)				
防 災 行 政 課	1 事業目的 想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定を実施し、これに応じた避難方法等を住民等に適切に周知するためにハザードマップを作成する。								
	2 事業内容 既存の清須市水害対応ガイドブックについて、想定し得る最大規模の降雨に対応したものとするため、国・県が公表した洪水浸水想定区域図をもとに見直しを行った。								
	(1) 対象河川（本市が洪水浸水想定区域内に入る河川）								
			区 分	河川の名称					
			直轄（国管理）河川	庄内川、木曾川					
		県管理河川	新川、五条川、青木川、福田川						
(2) 支出科目									
		区 分	内 容				事業費		
		委託料	水害対応ガイドブック修正業務				11,000,000 円		
3 事業成果 想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定に基づくハザードマップを作成し、市民の防災意識の向上につなげることができた。									